

中学校のがん教育授業を開催します

東林中学校におきまして、がん診療拠点病院である北里大学病院から講師をお招きし、がん教育授業を開催いたします。がんについての話を聞くことで、生徒たちが「がんについての正しい理解」を身に着けるとともに、「がんと共に生きる社会」について考えていきます。

開催校・学年 相模原市立東林中学校 3年生

日時 令和元年11月22日(金) 12:45~14:35

講師 北里大学病院
集学的がん診療センター
医師 佐々木 治一郎 様

北里大学病院
がんサロン運営委員
福井 砂夕里 様

【がん教育の国の動向について】

平成28年12月に改訂されたがん対策基本法において「がんに関する教育の推進のために必要な施策を講ずる」旨の文言が新たに記載されたことを受け、第3期がん対策推進基本計画(H29~H34)では、「国は、全国での実施状況を把握した上で、地域の実情に応じて外部講師の活用体制を整備し、がん教育の充実に努めることが示されている。

【がんと共に生きる社会とは】

がん患者が住み慣れた地域社会で生活をしていく中で、必要な支援を受けることができる環境整備することで、がん患者がいつでもどこに居ても、安心して生活し、尊厳を持って自分らしく生きることのできる地域共生社会を実現する。

【学校におけるがん教育の基本的な考え方】

がん教育の定義

健康教育の一環として、がんについての正しい理解とがんと向き合う人々に対する共感的な理解を深めることを通して、自他の健康と命の大切さについて学び、がんと共に生きる社会づくりに寄与する資質や能力の育成を図る。